



令和3年11月号  
表題: b y 木村瑠那

## ① 保護者授業参観

11月9日(火)午後「授業参観」が行われ、コロナ禍の人数制限でご迷惑をかけする中にも、1年生の保護者のみなさまにはたくさんご参観いただきました。ありがとうございました。生徒の皆さんには、我が子への熱い眼差しを受けて、随分と物静かに感じられましたが、受け答えの一言一言には積極的な学習意欲を感じて頂けたのではないかでしょうか。



## ② 地震避難訓練

11月19日(金)地震避難訓練が行われました。地震発生を告げる放送が入るや否や、生徒の皆さんは机下に潜り込み、机の脚を握って体の固定ができました。しばらくして、避難誘導の指示が入ると、6分程で中学・高校の全校生徒が第一次避難場所に避難完了できました。校長先生から「お(押さない)・は(走らない)・し(喋らない)・も(戻らない)」を踏まえ、非常に落ち着いた避難行動ができたと好評をいただきました。これを機会に避難経路や連絡方法など緊急時を想定し、ご家庭でも話し合ってみて下さい。

## ③ 中間考査を終えて

11月29日(月)から12月1日(水)迄の3日間、中間考査が行われました。秋季休業の後、皇中祭を挟んで2ヶ月足らずでの考査となりましたが、1週間前にはしっかり学習計画を立て、奮起して臨みました。ところが、定期考査に慣れてきたせいなのか、問題文を読んだつもりのうっかりミスで失点したという声が、複数名から聞こえてきました。1点に笑い1点に泣くのがテストです。考査期間は全集中で得点に励んで下さい。

## ④ 「家庭に感謝する日(10/30)」の作文抜粋

- 私の両親は、とても優しくて時々面白いです。母は、学校や塾の送り迎えだけでなく、「友達と遊ぶからお願い。」と頼むと、始めはダメって言っても、最終的には送り迎えしてくれるので、ほんとに感謝しかないです。また、弟とケンカした時などに、姉だからと決めつけたりせず、しっかり話を聞いて叱ってくれます。父は、私に「ダメなものはダメ！」とよく言ってくるので、たまに言い方に腹が立つ時もあるけど、やっぱり父の言い分が正しいので、次の日には普通にしゃべってしまいます。たまに父と母がケンカをすると、弟と2人で止めに行きますが、なぜか4人で遊んでしまいます。そんなとき、「うちって平和だな～。」と思います。  
(中略) いつもはなかなか言わない、いや言えないけれど、本当に感謝しています。「お父さん、おかあさん、いつもいろいろありがとうございます。 (奥田 葉月)
- 父の仕事は、高齢者や障害者をサポートする仕事です。たまに叱られますが、褒めるところはほめてくれる父です。父の一番すごいと思うところは、ボランティア活動に参加していることです。僕もたまに参加していますが、すぐに嫌になったりするので、進んで参加しているところがすごくかっこいいなと思います。ボランティア活動もそうですが、父母は、人に貢献できることの体験を勧めてくれます。両親には、色々な体験をさせてくれることを感謝したいです。 (野中 勇我)
- 家庭に感謝する日に、まず私の一日を振り返ってみました。朝起きてから寝るまで、全て家族に関係します。いつも母が作ってくれる朝ご飯を考えても、吃るのは簡単でも作るのはとても時間がかかると思います。まず買い物をして、忙しい朝に他のことをしながら、火事にならないように気を配るなど、本当に大変です。けれども、母は一回もこのことを口に出さずにやり続け、その後仕事に岡かけます。  
(中略) この作文を書き出すまで、正直に面倒くさいと思っていたが、日々に母からされていることを思いだしてみたら、支えられているなど実感できました。(増田 輝)

